

2017年11月13日

## 当院で過去に PET 検査を施行された方へ

### (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] Positron Emission Tomography (PET) 検査における画像再構成法の違いがフラクタル次元へ与える影響についての研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 前田幸人、医学部附属病院放射線部、診療放射線技師

[研究の目的] 本研究の目的は、PET 検査における画像の作成方法の違いが新しい診断基準として期待されているフラクタル解析の結果に与える影響を調査し、脳腫瘍 PET/CT 検査の診療・診断に役立てることが可能かどうか評価することです。

#### [研究の方法]

##### ○対象となる患者さん

脳腫瘍が疑われるもしくは脳腫瘍の既往があり、平成22年5月1日から平成29年10月30日の期間に、香川大学医学部附属病院放射線部で脳 PET/CT 検査をされた方

##### ○利用する検体・診療情報

香川大学医学部附属病院放射線部にて施行された脳 PET/CT 検査データとその他の検査データ (CT 検査、MRI 検査、インターベンショナルラジオロジーなど) とそれらに関連する診療録 (既往歴、現病歴、生活歴、身体所見、症状など)、投薬内容、疾患名、病理所見、検査結果 (血液検査など)、各種臨床評価指標など、日常診療において行われている診察データを利用

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

#### [連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院放射線部

電話 087-898-5111 (内線 3220)

担当 前田幸人

FAX 087-891-2351